

長崎市体験の森指定管理者候補者選定審査会
審査報告書

令和6年10月

令和6年10月18日

長崎市長 鈴木 史朗 様

長崎市体験の森指定管理者候補者選定審査会

会長 黒田 暁



長崎市体験の森 指定管理者候補者選定審査会における審査結果について（報告）

長崎市体験の森の指定管理者候補者の選定に係る申請内容の審査を行いましたので、審査結果について次のとおり報告します。

1 審査結果

- 第一順位 株式会社シンコー
- 第二順位 長崎ダイヤモンドスタッフ株式会社
- 失 格 株式会社ファーストスター

2 選定審査会の構成

- 会 長 黒田 暁 国立大学法人長崎大学環境科学部
- 職務代理者 竹田 良和 九州北部税理士会長崎支部
- 委 員 荒木 誠 公益社団法人 長崎県緑化推進協会
- 委 員 都知木 睦 長崎市レクリエーション協議会
- 委 員 堀本 進 日本ボーイスカウト長崎県連盟

3 審査の方法

応募者から提出された申請書類に不備がないか、募集要項に記載された応募資格等の要件を満たしているかを確認し、事業計画書等の内容について、面接により審査を行いました。

審査の結果、合計点数が最も高い応募者を第一順位として選定し、以下指定管理者として適当と思われる団体までの順位付けを行いました。

審査にあたっては、公平性及び公正性を確保するため、団体名を伏せて実施しました。

4 審査の経緯

回数	開催日	内容
第1回	令和6年8月5日	【委員全員出席】 ・会長及び職務代理者の選出 ・指定管理者制度等の概要説明、募集要項等についての協議 ・現地視察 ・面接審査方法についての協議
第2回	令和6年10月18日	【委員全員出席】 ・審査方法等確認 ・面接審査、指定管理者候補者団体の選定

5 申請団体（届出順）

- (1) 長崎ダイヤモンドスタッフ株式会社
- (2) 株式会社シンコー
- (3) 株式会社ファーストスター

6 採点結果（委員5人中5人による採点結果は別紙のとおりです。）

- (1) 第一順位 株式会社シンコー

現行の指定管理業務の実績やノウハウの蓄積があり、施設の設置目的を踏まえて創意工夫された事業の取組み内容が評価される。現状をベースにした提案で、特筆される変化・改善はないものの、地道な改善で、安定的な業務実施が可能である。

- (2) 第二順位 長崎ダイヤモンドスタッフ株式会社

施設の設置目的を踏まえて創意工夫された事業の取組み内容が評価される。特に、若年層をターゲットにSNSの活用に具体性があり評価される。また、他の現行の指定管理施設のノウハウを活かした企画や、関係団体、地域との連携で利用者増やリピーター増の取組みが期待される。

- (3) 失格 株式会社ファーストスター

企業のリスク管理に関する緊急時の対応などの強みなどにより、安定した管理運営が可能だと評価される。また、施設の設置目的を理解し、森林及び林業についての理解を深める森林学習等の提案はあったものの、本業務に関する実績がないなかで、具体的な方法の提案がなされておらず、利用者増やリピーター増に繋がる取組みへの実効性の期待が低く、技術点の合計点が配点の60%未満であるため失格とした。

7 審査会総評

- (1) 審査に係る総括的な講評

第一順位者については、現行の指定管理施設の実績やノウハウを引き継いでの地道な改善での安定した管理運営が評価された。第二順位者においては、その他の指定管理施設でのノウハウを活かした仕組みや方法で、コロナ禍以前の水準までに戻すといった明確な目標を持ち、新しい切り口での集客増やリピーター増へ向けての事業に対する意欲と可能性が評価された。

(2) 選定審査会からの要望

第一順位者については、利用者増、リピーター増に向けた具体的な年次計画と、サービスの向上並びに新たな取組みへのチャレンジを行うとともに、将来的にも明確なビジョンと目的、目標をしっかり持って取り組んで欲しい。

(別紙) 採点結果

区分	評価項目			配点			採点 第一順位		採点 第二順位		採点 失 格	
	大項目	中項目	詳細	各 委員	全 体	計	株式会社 シンコー		長崎ダイ ヤモンド スタッフ 株式会社		株式会 社 ファース トスター	
技術点	基本事項	基本方針	当該施設の管理運營業務について、施設の設置目的等に合った基本方針・理念を持っているか	4	20	60	15	43	16	48	14	39
		平等利用の確保	施設の利用に関し、公平性を確保する考え方と方策が適切であるか	4	20		13		14		12	
		個人情報保護	施設の利用者の個人情報の保護に関する措置は適切か	4	20		15		18		13	
	事業計画	施設の設置目的と計画	施設の効用を最大限に発揮し、森林及び林業についての理解並びに自然愛護に対する意識の高揚に資するという施設の設置目的が達成されるか	8	40	160	32	122	34	143	20	80
		サービスの向上	・施設の利用者の増加や利便性を高めるための提案であるか ・自然体験学習や自主事業に関する提案並びにその他施設の効用を高める事業の提案に創意工夫が見られるか ・情報発信（広報・宣伝）の取組みで利用者数を増加させるための提案であるか ・リピーター獲得に向けた提案であるか	20	100		75		95		50	
		評価と改善	事業の評価・改善体制があるか	4	20		15		14		10	
	管理運営体制	人員配置	職員配置は、当該施設の業務を行うのに適切か、また管理組織と施設配置職員の連絡体制については適切か	8	40	100	28	77	30	74	20	62
		収支計画・施設管理	当該施設の業務に係る収支予算書・管理に関する基本的な事項は適切であるか	8	40		34		30		24	
		緊急時の対応	緊急時における、連絡体制等危機管理体制は適切か、また、事故防止対策の考え方と取組みについては適切か	4	20		15		14		18	
	技術点 計				64		320	242		265		181
価格点	価格	経費	経費は適切か	30		150	145		110		135	
合 計				94		470	387		375		316	